



学校だより

令和2年2月13日
発行 校長 佐藤昌俊

新入生説明会を開催しました。

令和2年度入学生のための「新入生説明会」を2月4日(火)に実施しました。多くの保護者の方にご参加いただきありがとうございました。

次年度の新入生は、第61期生となります。現時点では147名の新入生を迎える予定で、各学年4学級、特別支援学級が3学級で、全校生徒数430名を予定しています。数年前までは各学年5学級で学校を運営してまいりましたが、少子化の影響は本校にとっても大きくなってきています。

さて、義務教育の最終課程である中学校3年間は、自立へ大きく成長していく重要な時期であると考えています。それは社会的自立であり、親からの自立でもあります。そのような成長過程にある中学生は体の成長も顕著ではありますが、心の成長もまた顕著なものとなります。そしてその成長は時として自分自身の考え方との違いから、友達や親、教師、大きく言えば社会ともぶつかることもあります。

しかしこのようなことも成長過程の一つです。様々なことに悩みながらも、自己の生き方を見つめ、考え一つ一つの壁を乗り越えていく姿は、私たち教職員から見ても、誇らしく、うれしいものです。入学当初はまだまだ幼い生徒たちも、中学3年生ともなれば、将来の自分の目標や生き方を語り、次のステップを自分の力で歩いていこうとします。

4月6日(月)に迎える新入生が将来に向かって健やかに成長できるよう、保護者の皆様と手を取り合って、一人一人の生徒と向き合い、その思いや考えを受け止めながら教育活動を進めてまいります。



1年「進路学習会」2年「進路説明会」を開催、3年は入試本番

先週金曜日に1年生は「進路学習会」2年生は「進路説明会」を実施いたしました。また、今週は私立高校の一般入試、公立高校の入試が行われており、3年生は入試本番です。近年はほとんどの生徒が進学を希望し、高等学校や専門学校などを受験しています。しかしながら進路に関わる学習は、どのように高校を選択したらよいか、どのような方法により受験したらよいかを学ぶことが主たる目的ではなく、自分の将来をどのように考え、選択し、決めていくか。もっと大きくとらえれば、どのような生き方をしていくかを考える学習とも言えます。生徒は教科指導、生活指導、道徳、体験学習などを通して、自らの将来への考え方を定めていきます。ぜひ、ご家庭でも時に触れ、お子様の将来について話題にいただき、本人の夢や目標などについて、またそれらが定まらないことなどについて聴き、語り合う時間を作っていただければと思います。

ご寄付にご協力いただき、ありがとうございました！

カンボジアの子どもたちに楽器や固形石鹸を届けている県立保健福祉大学のサークルの活動にご協力いただき、感謝申し上げます。お礼状が届きましたのでご紹介します。

楽器を寄付して下さった皆様へ

神奈川県立保健福祉大学
国際交流ボランティアサークルアナーコット一同

この度は、ご家庭の大切な思い出の詰まった楽器を寄付して下さりありがとうございました。アナーコット一同ご協力いただけたことに大変感謝しております。

カンボジアには音楽・図工・体育など日本では当たり前の情操教育がありませんでした。しかし、同国ワット・ボー小学校で元青年海外協力隊員である日本人女性、田中さんが音楽教育を伝えたことで、一部の小学校の子どもたちや先生方は毎日熱心に音楽の授業に励んでいます。楽器に触れたことがなかった子どもたちも、今では「音楽が一番大好き！」と目をキラキラさせながら素敵な音色を奏でています。同小学校では音楽の授業をする環境が整い、彼女がいなくても自立して音楽の授業を行うことができるようになったため、現在では隣のトロン・オン・ドーン小学校がメインの支援先となっております。トロン・オン・ドーン小学校の隣には教員養成校があり、田中さんはここでも教鞭をとっています。この教員養成校の生徒が各小学校に配置されたときに、音楽の授業が各校で行われることになりませんが、子どもの数に対して楽器の不足が予想されます。

そのため、私たちはより一層楽器の募集・清掃に力を入れています。今回寄付していただいた楽器は、サークル員の手で丁寧に清掃し、3月中旬に予定されている訪問の際に届けさせていただきます。その際にはまた改めてご連絡させていただきます。

この度は楽器を寄付していただき、本当にありがとうございました。今後もアナーコットの活動への温かいご理解とご協力のほど、よろしく願いいたします。